

1、教科目標

「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す」

2、評価の観点及びその趣旨

【知識・技能】

対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。

【思考・判断・表現】

造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

3、第一学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

4、指導計画・評価計画表

月	指導計画	観点・評価規準			評価方法
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
5 10	スケッチ（2時間）	鉛筆の特性を理解し、学んだ技法を使うことができる。	短時間で対象の形を捉えて描くことができる。	対象をよく観察し、正確に表現しようとする。	・授業の取り組み姿勢 ・作品
4 5 6	文字デザイン（5時間） スケッチブック表紙デザイン	レタリングの基本を理解し、直線と曲線を使い、文字の形を美しく制作することができる。	造形的なよさや美しさを感じ取り、構成を工夫して構想し、表現しようとしている。	丁寧に形を再現しようとしている。	・授業の取り組み姿勢 ・作品 ・振り返り鑑賞シート ・定期テスト
6 7 9	色について（5時間） 模様のデザイン（12時間）	基本的な色彩の知識を理解している。材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。	絵の具の混色で意図した色をつくり、表現しようとしている。独創的な形を創意工夫して制作しようとしている。	色彩に親しみ、絵の具の特性を理解しようとしている。多くの作品を鑑賞し、良さや楽しさを味わうことができる。	・授業の取り組み姿勢 ・作品 ・振り返り鑑賞シート ・定期テスト
11	鑑賞「日本美術」（1時間）	美術の文化的背景や画家について理解を深めている。	鑑賞を通して感じたことを自分の考えから表現している	色彩や造形の美しさなど、感じとり表現し、理解しようとしている。	・振り返り鑑賞シート ・定期テスト
10 11 12	じっくり見ると（12時間） 見えてくる	成形のプロセスを理解し、粘土の特性を生かした制作をすることができる。	イメージを膨らませ、感性や感覚を働かせて、心豊かな表現をしている。	主題を基に表したいイメージをもちながら、自らの表現意図に合う方法を工夫している。	・授業の取り組み姿勢 ・作品 ・振り返り鑑賞シート ・定期テスト
1 2 3	「飾る」写真フレーム制作（8時間）	教材の特性を生かした制作をすることができる。	スタンドグラスのデザインを生かし、豊かな表現を広げて制作しようとしている。	材料の準備ができ、造形上の楽しさを味わおうとしている。	・授業の取り組み姿勢 ・作品 ・振り返り鑑賞シート